

■ 対談／工房都市の可能性を考える

文化的刺激と洗練度が 求められている

吉田順一（神戸大学経営学部教授）

松宮隆男（北野工房のまちづくりアドバイザー）

神戸はハイカラ文化の街と呼ばれ、一九七三年のファッション都市宣言、一九八二年のコンベンション都市、そしてグルメ都市と独自の神戸文化を育んできました。

しかし、一九九五年の大震災により、街は大きな痛手を受けました。ただ、その復旧は目ざ

ましく、復興は全国の注目を浴びています。

その中でも、いち早く神戸工房の都市づくりのビジョンを掲げオープンした「北野工房のまち」は、多くの人々の人気を集めています。今回は、工房のまちを中心に、今後の神戸の街のあり方について語っていただきました。

— 工房のまちの原点はヨーロッパだと聞いていますが実際にはどのようなものなのでしょうか

吉田 昨年、ウィーンに行ってきたのですが、一〇〇年前、あそこには世紀末芸術を代表するウィーン工房というのが存在していました。そして今再び工房のおもしろさが見直され、その流れを継ぐウィーン応用芸術大学の建築

科を中心に教授やその卒業生の仕事は世界的にも注目を浴びています。彼らの活動は新しいウィーン工房の復活を感じさせます。現代社会は大量生産、大量消費で生みだされる豊かさの上を歩いてきましたが、もう一度その原点、「豊かさ」とは何かを考えようとする動きが出てきています。そのことを考えると、関心を寄せられている工房のま

ちを単純に観光・集客に結び付けようとする、危ないのではと思ってしまうですね。多数の観光客、マス・ツーリズムにつながるのではなく、アート・アンド・クラフトをひそひそと限定された「ちがいに」のわかるお客さんが楽しみ、口コミで広がっていくところが工房の魅力なのではないかと思えます。

松宮 そうですね、目に見えて集客の受け皿となるようなことをしてはいけないのですね。

吉田 大衆を相手にしていないと言われれば、かえって人は集まってくるからね。

松宮 本心にオーセンティックないい物を作れば、それが売れる。北野工房のまちでも、その製品が良いものだとかわかっていただける物づくりをしよう



バリの工房「Viaduc des Arts」



松宮隆男（北野工房のまちづくりアドバイザー）
1927年生まれ。元モロゾフ株式会社代表取締役社長。（財）神戸ファッション協会設立当時から、副会長として地場産業の振興に取り組んできた。1998年7月にオープンした職人の集う「北野工房のまち」の発案者。現在はアドバイザーを務める。



吉田順一（神戸大学経営学部教授）
1953年生まれ。オーストリア国立ウィーン経済大学博士課程修了。社会・経済科学博士。ヨーロッパ文化に精通した異彩の国際派研究者として執筆、講演、テレビなど多方面で活躍中。

とされています。安易におみやげをたくさん作って儲けようという考えで職人は動いていないのです。

吉田 そのようなモノづくりをする場合には、理念、思想、スピリットというものをちゃんと持っているなければなりませんね。三〇代、四〇代の消費リダーたちも消費のみが豊かさではないとわかり始めています。極端にいえば、反消費に走っているともいえます。

彼らは高級高価なものを買っても豊かだとは思わない。品質と価格だけでは語れないのが最近の消費者行動です。それがアート・アンド・クラフトの世界でいえば、製作者自身の生き方も現代社会のオールタイムイブともいえ、そのアーティストのパフォーマンス、生き様自体までもが消費者の共感を得たり、注目される世の中なのです。

松宮 現代の生活が成り立っているのは大量生産のおかげであることは間違いないので、あえて否定はしませんが、もっと人間らしさを望む生活に目が向けられるようになってきているのです。今までは無限のマーケティングを展開してきましたが、これからは有限、限られたマーケティングこそがもてはやされるのではないのでしょうか。

吉田 私も経営学に携わる者として、利益追求を否定はしていません。しかし今は「デ・マーケティング」の必要性が強い時代なのです。いかに市場を限定し、顧客を限定するか。限定することによって欲望を掻き立て、消費増大を謀るのです。ビジネスでの逆転の発想が必要ですね。これからの神戸の目指すものがマス・ツーリズムではだめです。そうじゃないからこそおもしろさが出てくるんです。街づくり、集客の視点から言えば、より文化度（民

度）の高い、より洗練したお客さんとその街に限定して集められるのか。街の文化密度の高さが、実は街の魅力なんです。

★職人に要求されるビジネスマインド

松宮 商人として経済性を無視することはやはりできません。企業は商品を買ってもらうことで生かされているのですから。しかし千円の生チョココレットが街の中心部で一日に三、四個しか売れないのに、工房のまちでは二〇〇個も売れる。しかし、もっと儲けようとして能率のいいことをしたのでは売れないんですね。「ごちそうは旅をしない」。そこに行かないと出会えないもの、限定品となるとみんな欲しがります。ただ、それにおごらず、売れる商品であっても工場で大量生産をするということは避けたい、ということなんです。

吉田 どのようにマーケティングしていくかは難しいですね。今の例でいうと価格と個数のバランスをどの線ととるか、これが大きく変わってくる。

松宮 北野工房のまちではそれぞれ八坪の工房の中で職人たちはみんな一生懸命にやっています。そして数は作れないので、手づくりの靴などは一日五

足売ればいい方なんです。ですが、そういう店は商売だけではなく人を育てようとしている姿勢が伝わってきて、それがまたいいのです。

北野界限でもステンンドグラスの作家が店を開いたりしていますね

吉田 これからはアーティストといわれる人、職人といわれる人も、ビジネスセンスと商人マインドを持ち合わせていなければなりません。これを備えていないとビジネスとしては成り立たない。うまく「作品」を「商品」としてプレゼンテーションができないとだめ。アートと経営、そのバランスの取れた人しか、これからは生き残れないでしょう。

松宮 職人だけではなくマーチャンダイザー・プランナーが必要かもしれませんね。

★これからは感動のビジネス

吉田 垂水にあるケーキ屋さんには実にうまく職人技とビジネスのバランスを取っている。元々は和菓子屋さんの家系なんだけれど洋菓子の世界に転身して、自らクリエイティブなこだわりの洋菓子づくりをしながら若手の職人を育て、奥様もお客様への徹底した細やかな気配りサービスのアイデアを提供



北野工房のまちでは熟練の技に直に触れることができる

して、夫婦二人で店を盛り上げています。垂水でこの店を知らない女性はいないんじゃないかなというまでに店は成長している。その店の評判は神戸の都心へ、近畿圏へ、あるいは全国へとどんどん広がっている。ところが、だからといって、あちこちに出店して、店の数を増やすことは絶対にしない。ほぼ垂水の地元だけでビジネスを完結させています。これはデ・マールケティングをやっているいい例ですね。

松宮 それは実に正しい選択だと思いますね。一店だけの店で作るケーキや工房の良さが物売れているんですよ。工場だとコストに見合った値段をつけなければいけないといった会社の都合で動いていたが、工房は客に喜んでいただく客のマインドが生きている。「小さいけれどキラリと光る店」これがこれからのキーワードです。心豊かな神戸に来てほっとしてもらおう。この方向でいくべきではないでしょうか。アーバンリゾートが目指しているものは本来こういうことにはずです。

吉田 そうして街の仕掛人になるにはある意味の「文化人」でないと。今、豊かさとして求められているのは高級ブランドではなく、文化的刺激と洗練度。ほんものの職人さんと会えて彼らのオーラを感じることが文化的刺激の一つです。それに引かれて人が集まってくるのです。

松宮 そうですね、感動のビジネスではないとこれからは成り立たない。クラフトマンシップが人を揺さぶるのです。見せかけだけの工房ではダメですね。

吉田 文化的洗練度の基準のハードルをあげるの職人さんとそこに集まるお客さん自身です。ヨーロッパの職人には神があり自分は神に仕える身だという感覚がある。自分のやっているこ

とは神から見れば一生未完成。アートの神の存在を信じるからこそ技と人間が磨かれる。七〇才の熟練職人でもまだまだ、と自分の技を過信しない。これが感動、強いては洗練さへとつながっている。

松宮 人間の心を揺さぶることを考えていけば必ずいい仕事になります。今まで企業は会社の都合ばかりを考えてビジネスをしてきたので今になって、仇討ちに会っているのかもしれない。でも、企業の体質はなかなか変わりませんが…。

★やはり、神戸はハイカラのまち

—神戸はファッション都市宣言をしてファッション産業が根付きました。その後、コンベンション都市、グルメ都市のイメージもついてきましたが今後はどうあるべきでしょうか

吉田 ファッション都市、グルメ都市など、キーワードづくりは上手ですが、ただキーワードだけ良くてもだめですね。工房もわかりやすいキーワードですが、エッセンス、スピリットを忘れて、キーワードだけで突っ走ると本質を見失ってしまいます。ハイカラの本質は洗練された生活であり、華美

ではないが貧しくない生活。昔の神戸はそんな生活が営まれていたと思います。それを支えるためのうるさいお客さんもいなくなりましたね。みんながハイカラの本質を忘れてきているんじゃないかな。

松宮 これからの神戸は「ほっとする」。そんないいものがあつたのか、と思われる街が理想ですね。ほんの一味の違いが神戸に行きたいと思わせる要素になる。いうならば利益を考えない道楽都市ぐらいになった方がいいですね。ローカル都市だからむしろ人が集まってくる。客寄せだけの見せかけの工房にはなつてはいけません。神戸だけは「感動いっぱい街」になつて欲しい。

吉田 全国横並びのマスマーケティングを展開するのではなく、神戸のいいものをわかり、それを身につける人がどれだけ増えるかがこの街の財産であり、資本です。ちょっと出かけるのもおしゃれをして出かける、そしてまわりの人の視線をあびる。また素敵な女性や男性が街を歩いている。街はオシャレのための舞台です。そんなハイカラさを備えた街であり続けて欲しいですね。

海のお嬢さん

青い海に華を添える

'98 こうべシークイーン



(右より)

甲斐由記子さん 小林敦子さん

田中智子さん 天野真紀さん

田治米美和さん

写真提供 / © 神戸新聞社

百三十五名の中から選ばれた五名の「'98 こうべシークイーン」の方々は、皆さん神戸生まれの神戸育ち。神戸の素晴らしさや、街が震災から復興していく姿を、多くの人に伝える民間親善大使として活躍中です。

神戸港のイベントでも、国民の祝日「海の日」事業、帆船「日本丸」「海王丸」の入港歓迎、国際交流、神戸でのイベント、全国都市間の交流と観光キャンペーンなどに参加していただいております。港に華を添えていただいております。今後とも、神戸港にてシークイーンの皆様のさわやかな笑顔にお会いできますことを楽しみにしております。



推薦者 山田鈴穂
(社)神戸港振興協会 常務理事

海のお嬢さん

さわやかな白の コンチエルトクイーン

佐伯麻衣さん
宇都慶子さん
瓜生美子さん



ハーバーランドにて 撮影/森田篤志



推薦者 福場政司

株式会社パソナクルーザー代表取締役社長

宇都さんは武庫川女子短期大学を卒業後、神戸港を周遊するミュージック・グレルメ船「コンチエルト」のコンチエルトクイーン・コンテストに応募され、二百人の中から見事に入選されました。入選後は自ら社員として、コンチエルトのイメージアップに寄与したいと入社を果たされた責任感あふれるお嬢さんです。

佐伯さんと瓜生さんは、それぞれ大学で勉学に励まれる一方、コンチエルトクイーンの補佐として、積極的なPR活動を展開中です。

三人のさわやかな笑顔が、クルージングを一層素敵に演出しています。

■神戸山手大学4月開学記念座談会

神戸の明るい風土が

オープンマインドな女性を育む

小森星児

〈神戸山手学園理事長・同大学学長〉

小関三平

〈同大学人文学部学部長〉

奥村彪生

〈同大学教授・伝承料理研究家〉

今春、諏訪山からフレッシュな風が吹きます。

4月に開学する「神戸山手大学」は

全国初の「環境文化学科」を擁する4年制女子大学。

文系の視点で広く「環境」と「文化」にアプローチし、

神戸から、日本と世界そして地球を考えます。

都心に位置する数少ない大学として、

その理念と魅力はどう発揮されていくのでしょうか。

ユニークな教授陣で

明るく柔軟性のある学生育成を

― 四月に開学する神戸山手大学の新しい試みが、日本で初めての「環境文化学科」です。いったいどういう学科なのでしょう。

小森 最初に環境文化というのがいいのではないかと考え出したのは、山手女子短大の若手グループなんです。

小関 「環境」といえば「自然」が連想

されがちですが、「環境問題」も人間が生み出したので、それを文化の側からみつめてみよう。風景の美しさに鈍感になればそれが環境破壊に進むわけだから、美的感受性は環境問題にかかわってくる。そういう方向から日本の風土を見つめ直したい。

小森 去年の二月、大学設置審議会の面接があったんです。面接官は早稲田

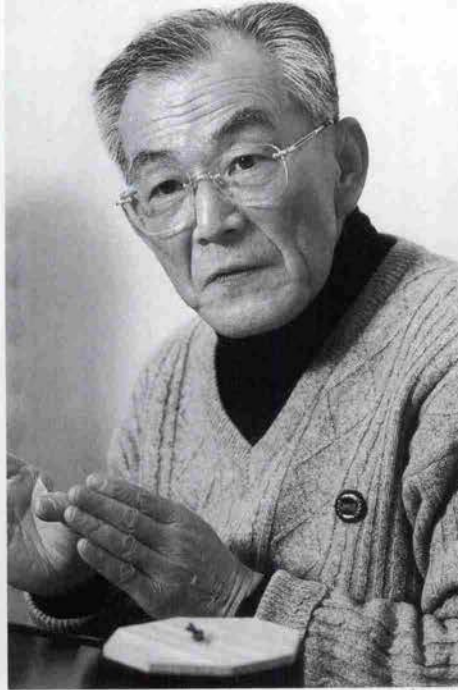
の総長をはじめとするお歴々で、どんな質問がでるか緊張しました。そう

したら最初から、環境を文化からとらえるというのはいままで欠けていた視点で非常にユニークだ、と。さらにそれを、開国以来東西文化の玄関口であり、交流の拠点となってきた神戸ですらという点を高く評価してください。若いとき神戸に住んでおられた面接委員で、「ああいう土地でこんな学園

ができるのはうらやましい、ぜひがんばってください」と言われて。あまりほめられると、かえって責任が重い(笑)。

小関 小森先生には、突然学長をお願いしました。ご活躍ぶりは知っていましたし、兵庫県や神戸のことをすみずみまでご存じだし、学長経験もおありだし、うってつけだ。引き受けていただいたとき、すでにカリキュラムが九





こもり・せいじ

1935(昭和10)年生まれ。京大文学部史学科卒業後、同大学院修了(地理学専攻)。神戸商大教授、県立姫路短大、大阪商大大学院教授を経て、昨年より神戸山手学院理事長。震災後、神戸復興塾を創設、また県外避難者支援やマンション再建などに尽力

こせき・さんぺい

1934(昭和9)年生まれ。京大文学部哲学科を卒業後、同大学院修了(社会学専攻)。立命館大学、神戸女学院大学、佛教大学、追手門学院大学教授を経て、今年4月より神戸山手学院文学部部長。小誌にルポをたびたび連載し、好評を博した

おくむら・あやお

1937(昭和12)年和歌山県生まれ。伝承料理研究家として万葉料理、平安宮廷料理などの復元を行う。世界の民族の伝統料理に詳しい。現在、神戸山手短期大学生生活学科教授。奥村彪生料理スタジオ(別称・道楽亭)主宰。平成6年度食生活文化賞受賞

割がたできていたので、少し手を加えていただいて、世界の都市などお得意の分野を入れていただきました。

小森 中心になる教授陣は外部からお招きしています。各分野に適任だと思われる方に声を掛け、皆さん神戸で新しい学問を展開しようという思いで来てくださっている。新設大学を、短大が生き延びるための看板の掛けかえだという見方をされる方がありますが、決してそうではありません。それは、教授陣をみていただければよく分かると思います。

小関 スカウトした先生たちの前勤務校をみるとバラエティがありますよ。慶応、宮崎大、鹿児島経済大、平安女学院、武庫川女子大、親和女子大、神戸女学院、考古学者の田辺昭二さんや歴史民俗博物館の佐原真さんも来てくださることになっていて、外国人のスタッフも大変充実しています。

小森 中でも環境教育と文化人類学の先生は外国人で、とてもユニークな存在です。外国人を探したわけではなくて、その分野の適任者を探したら、たまたまドイツ人であり、アメリカ人だった、ということなのですが。

小関 ドイツ人の先生はECで環境問題のブレイン的なことをやっていたという人だし。スタッフも自然に国際化

したということでしょう。

小森 英語の先生は、もちろん全員ネイティブですしね。

—そういう教育環境で、どんな女性に育てていきたいとお考えですか。

小関 神戸ならではの、のびのびとオープンマインドな女性を送り出していきたいですね。

奥村 神戸の女性は本当に明るい。私は神戸以外のあちこちの短大や大学で非常勤講師なんかをしているので、比較するとよく分かります。神戸にはワビ、サビ、ジメジメは合わない。小説でも、食事の場面は神戸でないよね。

小関 開港以来のハイカライメージが定着している反面、蒸留水の中みみたいなところがあります。が、六甲を越えたら丹波があり但馬があるのだから、学生にはそういうところもどどん歩かせて、自然とか野生とかいったものにも大いに触れさせたいと思っています。自然も含めて、さまざまな環境に能動的に働きかける女性をつくっていきたいですね。

小森 これまでの女子大は、とかく資格、免許にこだわってきたでしょう。しかし、その資格や免許がどれだけ実生活に役立っているか。教員や栄養士の資格を取っても一度も使わない人はいっぱいいる。



した料理の再現とか、安土桃山時代にポルトガル人が伝えた南蛮料理の再現とか…。

奥村 最初のときは学生たちがポルトガルの衣装を着て、招いたお客さんたちの前でデモンストレーションをしてから食事をやったんですが、女性って変身願望があるでしょう。じつに楽しんでそうに、嬉々としてやるんです。伊藤博文が鹿鳴館で舞踏会を開いて食事をしたときのメニューも再現したこともあるのですが、それもおもしろかったですよ。

小関 すべてに歴史がひそんでいるから、掘り出せばどんどん宝がみつかりますね。できるだけ多く異分野の人たちに触れる機会をつくって、外の風を入れたい。

奥村 短大では、船で瀬戸内海をクルージングするというようなこともやってきたけれど、これも神戸らしいでしょう。遊びの雰囲気を大事にするというか…。学校の中だけにこだわらず、一般市民の方やシェフ達と一緒にトータルファッションとしての料理ショーみたいなことも、これからやっていきたいことのひとつです。

小関 遊び心のあるおもしろいことをいろいろやりたいですね。

地域に根ざし、共に育つ大学を

—話は大学から少しそれますが、最近の神戸の復興ぶりをどうごらんになっていますか。小森先生は、神戸復興塾でも活動していらっしゃいますか…。

小森 今年の一月十七日には鷹取の大国公園から三宮まで十キロを歩く「こらべい（あい）ウォーク」という催しをやったのですが、遠く関東や九州からも参加者があり盛況でした。震災についての自分の思いを何かの形で表したいというときに、歩くというのはいいことだと、多くの参加者がゴールで書いた一言メモに記していました。今は、史跡めぐりや市場めぐりなど種々のテーマで実施できるよう、関係者に働きかけた。これが神戸の名物になればいいと思っています。それにしても、公園の中で十キロ歩ける欧米都市と、数十カ所の交差点を渡らなければコースを設定できない日本の現状との格差には、ため息ができました。

—建物もずいぶん建ち上がってきましてが、他にどんな施設があれば神戸文化の復興につながってくるでしょう。

小森 NPOによる福祉やまち興しを支援するために、入居後少なくとも三年間の家賃免除が認められるポランティアセンターの設立を望みたいです。



場所は、吾妻小学校の跡地がいいのではないのでしょうか。ロケーションとしても、賀川豊彦の業績を顕彰するうえでもふさわしいと思います。

奥村 この先神戸の文化を育てていくための施設は、もつといろいろあつていい。私の専門で言うなら、ポルトアイランドあたりに世界の食文化館みたいなものが欲しいですね。

小関 ひとつの形が壊れると、おのずと新しい活気が生まれる。たとえば長田が最近ずいぶん活性化したんじゃないですか。神戸の新しい成長センターになっている。とくに若い人ががんばっているのがいいですね。

小森 神戸は港町、ハイカラというイメージでひとくりにされがちですが、地域によって色合いは違う。それぞれの場所が築いてきた生活世界を継承し、多彩で界限性に富む神戸の魅力をまちづくりりに生かすことが必要だと思えます。

奥村 そのとおりですね。実力が大事なのに。

小森 うちではむしろ社会に出て、あるいは会社に入って通用する資格というか…、たとえば英語で発信するとか、英語を使ってビジネスをするとか、そういう実用的な面を重んじていきたいと思っています。

小関 どんな業種にでも歓迎される柔軟性をと応用力を身につけさせたい。

—奥村先生は、短大でもたいへんおもしろいことを試みてこられましたね。学生たちを指導して、朝鮮通信使に出



奥村彪生さん特製弁当も加わって話はずむ。左から、小森星児さん、奥村彪生さん、小関三平さん

—奥村先生は、震災当時は奈良のご自宅にいらっしやったのですね。
奥村 震災後の神戸にボランティアに行く予定だったんです。が、その前にいちおう健康診断を受けておこうと…。

そしたら狭心症がみつかって、リュック背負ったまま、即入院。私を助けてくれたのはあの震災だったから(笑)、ますます神戸のためにがんばらんと、という気になりました。

小森 神戸はずるいまちですよ。よそから来た人を上手に働かせて使う(笑)。
小関 よその人をすんなり受け入れるまちですね。

小森 iウォークもそう、ルミナリエもそうなんだけど、ちよつと行こうかという気を人に起こさせる。ルミナリエなんか、神戸以外でやったら、なんだあんなものか、となるんだろうけど、神戸でやると、ああよかったねえということになる(笑)。

奥村 山手女子短大で教えていて感じたのは、他校から授業を受けに来たりゼミに来りする人たちが拒まない、むしろ歓迎しているということですね。あの明るさ、解放性は風土やろね。

小関 山から海に向かって傾斜しているという地形も関係があるのと違うかな。山の斜面が南に向いて、光に映えて緑がよけいきれいにみえる。

奥村 奈良から来ると、芦屋を過ぎるあたりからパッと明るくなるのを感じます。女の人が着ているものからして明るい。地中海的明朗な風土ですね。

小関 しかも、ケバケバしくないですね。

奥村 学生に、食べたことのあるチーズの名前を書けなんていうと、即座に二十くらい挙げる。ほかの学校で同じ質問をするとせいぜい三つ四つですよ。

神戸の子はパンにうるさい、菓子にうるさい、飲み物にもうるさい。学校の実習でコーヒーを出したら飲まないんです。紅茶でないと、というわけ。おしゃれというか、土地柄が出るんやねえ。

—六甲山の麓に沿うように女子大があるというのもおもしろいですね。

小森 その中でも神戸山手学園というのは、他の私学とはちよつと違う伝統をもっていると思いますね。七十五年前の創立当時は、大正デモクラシー華やかなりしころ。女性の意識も高まってきた時代ですが、女子中等教育の場は少なかつた。それをなんとかしようとして地元の方々が奔走し、神戸市から土地の払い下げを受けました。つまり学校をつくったのは元町の商店街を中心とした地元の方々に、宗教的なバックがあるわけでもないし、個人の財力という後ろ盾があるわけでもない、いわばコミュニケーション立です。その伝統は貴重なものとしてぜひ生かしていきたいと思っています。

小関 地域密着でいきたいですね。
奥村 こつこつとユニークにやっつけて、皆さん支持してくれると思えますよ。学生も街の人も、皆が集う裏町の文化のようなものが育っていったらいいと思います。

小森 街と学校がお互いに刺激しあって、神戸らしい、いいものを創りあげていきたいですね。
 —期待しております。どうもありがとうございました。

(1月26日、関西文化サロンで)



神戸青年会議所

我々が21世紀の神戸を創る

あ
集
い
る



青年会議所(JC)とは、四十歳までの「若い力」が
 結集する青年経営者の組織。「変革の能動者たらんと
 する青年として、個人の、真に豊かな生活の実現を
 通して、自立した、快適で活力ある地域を創造し、
 自由と公正を保障する国家を基盤として、世界の平
 和と繁栄に貢献し、地球上のすべての人と、共に生
 きることを誓う」と自らの使命をその宣言に誇り高
 く唱えている。

また、その綱領には、「われわれJayceeは、
 社会的・国家的・国際的な責任を自覚し、志を同じ
 うする者相集い力を合わせ、青年としての英知と勇
 気と情熱をもって、明るい豊かな社会を築き上げよ
 う」と青年らしい息吹きがあふれている。

社団法人神戸青年会議所は、今年で創立四十一周
 年になる。JCは単年度制なので、基本理念やテー
 マは、その年の理事長が提唱する。

本年度の基本理念は、瀬戸口仁三郎理事長が提唱
 した「自覚・自立・自律」。また基本テーマは「我ら
 が二十一世紀の神戸を創る」。

去る一月八日、新年祈禱のため生田神社に、理事
 長以下主要メンバーが集まった。

二十一世紀を見つめた神戸の未来が、彼らの双肩
 にかかっている。

〔編集部〕

前列左より橋本和典、植田正己、三條慶亮、石本孝浩、瀬戸口仁三郎、奥井秀
 樹、青山幸嗣、大澤一郎、柳本佳郎、土屋雅昭、西村泰行
 中列左より前田修、康本兵吉、花房克成、船木靖夫、寺本賢、中山広隆、今津
 由雄、黒岡真司、新原秀人、井口浩、柳川晃
 後列左より王裕良、宗和正文、山根邦裕、藤田隆司、或正晴、横山政夫、井上
 裕隆、寺崎浩幸、堀江弓香、臼井英之、周志仁、堀幹夫、濱西敏郎、上村修司

■連絡先 社団法人神戸青年会議所

神戸市中央区港島中町6・1神戸商工会議所会館6階

TEL078・303・0075

農業公園「陶芸館」土曜日クラス講師 仲間とわいわい、陶芸にどきどき

あ
い
る
集



「たとえアマチュアでもプロの精神で」

古舞子焼の伝統を継承しながら「神戸焼」として発展させた故・南汎さんの言葉を受け、夫人の南和恵さんのもと農業公園陶芸館で教室が開かれている。

土曜日のクラスの講師を受け持つのは総勢十二名。「みんな個性的で我が道をいくタイプかな」「愉快的な仲間と陶芸で遊んでワイワイ。人生これで十分」。

平均陶歴十年、平均年齢五十歳(?)の仲間たちが、生徒を指導しながら創作に励み学んでいる。

みなさんからコメントをいただいた。「焼き物との出会いは、人との出会い、自分との出会い」「やさしい土、楽しい土、むつかしい土、いろいろあってこれからも楽しくやりたい」「思わぬ出来上がりに一喜一憂」「いろいろなことを忘れ、おぼえる。そして新しい週が始まる」「楽しみながら自分が表現できれば」「作品は各人の分身。買っていただいた作品、可愛がられているだろうか」「すっかりハマっています」…。陶芸は何かに似ている。

二月には元町カルチャー倶楽部六階のギャラリー10で「土器土喜 花器展」を開催。「どきどきするよいうな作品を並べたんです」と南和恵さん。「みなさん勉強熱心で、お互いを認め合う良きライバル。楽しく教え学びながら、神戸焼の伝統が次代に伝わっていくんでしょうね」

矢島

■神戸市立農業公園陶芸館

神戸市西区押部谷町高和1557・1

TEL078・9911・3911

GOLF

今月はゴルフお得情報です

● プレーヤー優待割引

ゴルフ場	期 間	曜 日	通常料金	特別優待料金
関西 クラブGC	~3月末日	平日 土日祝	19,700 27,500	14,000(次金) 15,000(木金) 22,000
吉川 カントリーC	"	平日 土日祝	25,200 33,200	17,200 24,200
ウエスト フレンズGC	"	平日 土日祝	18,900 26,900	14,900 21,900
ウォーター ヒルズGC	"	平日 土日祝	19,900 28,900	14,900 23,900
ローズウッド GC	"	平日 土日祝	22,200 32,200	16,200 25,200
花屋敷 よかわ	"	平日 土日祝	19,700 26,700	16,000 22,000
サングレ ードGC	"	平日 土日祝	13,000 20,000	12,000 18,000
有馬富士 CC	"	平日 土日祝	19,200 26,200	14,700 21,200
西脇カントリーC	~3月14日	平日 土日祝	20,900 28,900	13,800 23,200
レークサイド CC	~3月末日	平日 土日祝	16,400 25,400	12,500 20,400
ぜんカントリーC	"	平日 土日祝	14,340 23,340	11,000 17,000

小関みか子のTASTYゴルフ

★ レッヅゴー タイガース ゴルフ大会参加者募集!

今年のプロ野球は開幕前からいつも以上の盛り上がりを見せています。特に今年の注目はタイガース! そこでこのたび、プロ野球開幕前にタイガースファンの皆様が集まっていただく貸切りコンペを企画しました。名門ABCゴルフ倶楽部で充実のゴルフを楽しみながら、プロ野球談義に花を咲かせてください。ファンではなくても、ゴルフを楽しみたい方ならご参加大歓迎です。

- 日時 平成11年3月29日(月) ーなど。アサヒビールは飲み放題!
- 場所 ABCゴルフ倶楽部 ●商品 優勝特別賞 JTSより北海道往復ペア航空券
- 料金 25,000円(プレーフィー、会食代、商品代含む) 消費税別(朝食、昼食、売店は各自払いです) その他各賞にタイガース協力会から素敵なプレゼント
- 組数 40組(160名) 限定 先着順
- 競技方法 全員ダブルバリア方式
- 表彰パーティー 植草貞夫アナウンサーの司会で、ABC放送解説者による今年の阪神タイガースの陣容とベナントの行方などのトークショー
- 協賛/アサヒビール、シャープ産業、ジャパントアシステム(JTS)
- 協力/阪神タイガース協会、ABCゴルフ倶楽部
- すべてのお申し込み・お問合せはル・ヴェールまで



小関みか子のSHOP

ルヴェール六甲店
神戸市灘区篠原北町2-1-30 TEL/078-881-2777

ルヴェール御影店
神戸市灘区御影中町6-4-23 TEL/078-811-3007

神戸ファッション市民大学OBによるグループ
神戸のファッション都市化をめざす

K.F.S. NEWS 196

よい服か否かを決定する重要な要素のひとつはパターンである。質の良さを誇る、神戸ファッションのさらなる技術向上を目指して開催された、プロ向けの“立体裁断セミナー”にこのたび石原暁美会長と会員の斉藤統子さんが参加。

セミナーは学校法人福富学園(神戸文化短期大学・神戸ファッション専門学校)の主催により、1月28日・29日の



左から石原暁美会長、ソーラ先生、斉藤統子さん、田仲留美子さん

2日間、パリから来神中のマダム・ソーラを講師として行われた。

同学園では、このたびパリオートクチュール校と姉妹校提携を結び、パリから学園のデザインコンテストに対する、オートクチュール学校賞の設定や今回のセミナーの開催などの交流が深まっている。

パリオートクチュール校は世界のファッションの中核ともいえる、パリオートクチュール協会直属の学校であり、30余年にわたり校長を務めるマダム・オルガ・ソーラは、正にオートクチュール技術そのものといえる。

研修を終えた石原会長は、「門外不出といわれるパリのオートクチュール・テクニックを神戸で学べる! 昨夏のパリオートクチュール校を訪問しての研修に続いて、今回はオルガ・ソーラ

事務局/神戸市中央区下山手通3-1-18
ツインズトアビル4F 月刊神戸っ子内
TEL.078-331-2246
FAX.078-331-2795

神戸ファッションの技術向上を目指して パリの立体裁断セミナー開催! ー神戸ファッション専門学校ー

校長自らのレクチャーであり、ひとりひとり懇切丁寧に手をとっての立体裁断の技術講習はこの上なく、贅沢で実りの多いものであった」と語っていた。



指導中のソーラ先生

【プロフィール】

マダム・オルガ・ソーラ

LES ECOLES DE LA CHAMBRE SYNDEICALE DE LA COUTURE PARISIENNEの校長。MOF(フランス最優秀工芸受賞者協会)会長。フランス教育省技術教育諮問委員。1992年にシュバリエ・ド・ラ・レジオン・ドヌール受賞

さんちかリニューアル1周年記念フェア

ありがとうの春がきた。



メルセデス・ベンツAクラス
(懸賞の車の色とは異なります)

■ 期 間

3月19日(金)～3月31日(水)

■ 応募方法

さんちか各店でお買い上げ、ご飲食ごとに応募用紙を1枚進呈。各ブロック出入口に設置の応募ボックスにご投函ください。期間終了後、抽選いたします

■ 賞 品

● 特賞

神戸国際会館復興コンサート

さんちかリニューアル1周年記念コンサート

(6月9日(水) 神戸国際会館大ホール)へご招待

ペア1000組2000名様

*ご招待者全員にさんちかオリジナルオベラグラスをプレゼント

● A賞

アメリカ西海岸6日間の旅ご招待 ペア5組10名様

● B賞

アメリカ西海岸6日間の旅ご優待 ペア10組20名様

(ご負担額お一人5万円)

オープン懸賞

さんちか夢広場で「メルセデス・ベンツAクラス」が1名様に当る、公開抽選もあります

(展示期間3月12日(金)～3月31日(水))

santica
The New Heart of Kobe 神戸三宮さんちか



お買物は神戸“三宮”で
こうべ買っ得商品券、神戸市地域振興券のご利用を！



こうべ買っ得商品券

●内容/神戸市商店街連合会と神戸市小売市場連合会が発行する購入額より一割お得な商品券です。

●販売開始日/平成11年2月25日

●使用期間/平成11年3月1日～平成11年8月31日

●お問い合わせ/神戸市商工課

TEL.078-332-5336



神戸市地域振興券

●内容/国が15歳以下の子供のいる世帯主や高齢福祉年金の受給者などに交付する商品券です。

●交付期間/平成11年3月下旬から郵送で

●使用期間/平成11年3月31日～平成11年9月30日

●お問い合わせ/相談窓口

TEL.078-252-4100



※両券は、店頭に取り扱店表示ステッカーのある店舗のみのご利用となります

さんぷらさ

センタぷらさ

センタぷらさ西館

神戸 [三宮]

★三宮特集

神戸国際会館復興トーク

「さんぶら」でシヨツピングを

■出席者・順不同

小松原正直

〈神戸三宮センター街一丁目商店街復興組合副理事長〉

中野正夫

〈株式会社そごう神戸店販売推進店次長〉

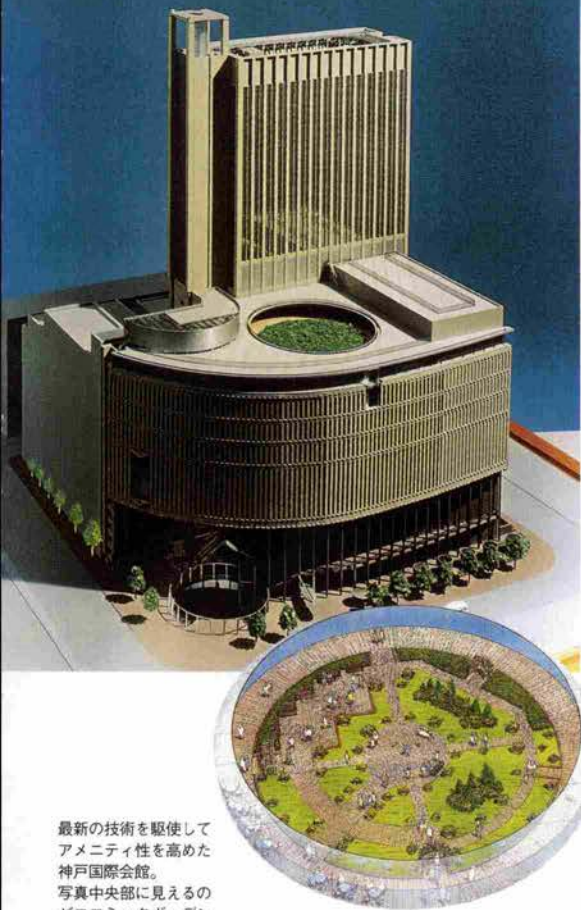
西村 理

〈株式会社西村屋フーズコム代表取締役社長〉

東條隆裕

〈さんちか名店会長〉

震災復興をめざして、着々と復旧が進む三宮に、四月二十八日、神戸国際会館がオープン（グラウンドオープンは五月二十八日）。今回、三宮各エリアを代表する方々にお集まりいただき、神戸国際会館への期待などを伺った。



最新の技術を駆使して
アメニティ性を高めた
神戸国際会館。
写真中央部に見えるのが
ココミックガーデン
(屋上庭園)

★三宮最大のアメニティゾーン

―四月二十八日に、いよいよ神戸国際会館がオープンですね。三宮各エリアでも期待が高まりますね。

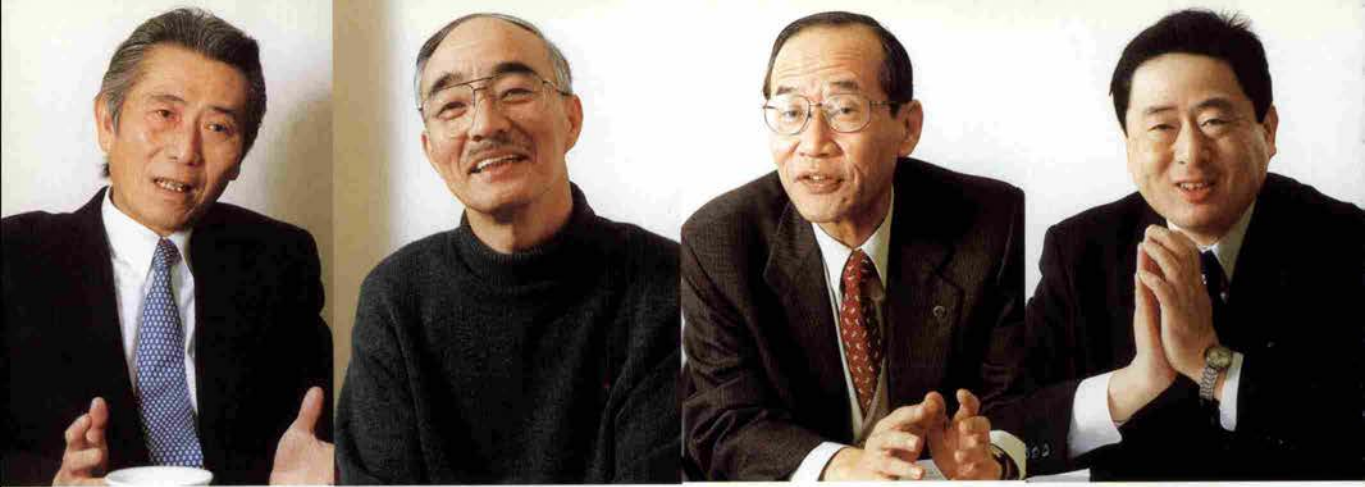
西村 昨年は明石海峡大橋が開通し、新しいニュースとなりましたが、現状では神戸は、ただの通過点になっています。そのような中で、劇場、シヨツピング、お食事だけでなく、挙式まで可能なココミック・ガーデン（屋上庭園）などの機能をもった神戸国際会館が誕生します。三宮最大のアメニティ空間が誕生したことで、シヨツピングを楽しめる回遊ルートが完成されると信じています。西村屋は10階の飲食ゾーンに、日本料理のお店でありながらインテリアは洋風という一風変わった「西村屋ダイニング」をオープンさせます。したがってレストランウエディングにもご利用いただけます。また、飲食店は生ゴミを出すときには、バイオ処理をするなど環境への配慮も義務づけられています。

中野 すばらしい映画、音楽、ミュージカルに出会う機会が増え、神戸店の質も向上しますね。そごう神戸店は神戸国際会館と連絡通路で結ばれますから回遊性が増しますし、オフィスビルも復興してきますので、昼間人口も増

えます。当店も三月十日に竣工する神戸国際会館すぐ東の三宮ビルに新たにシヨツピングをオープンさせます。地下には飲食店やレストラン、1、2階はファッションの店舗が入り、三宮でのお買物もますます楽しくなることでしょう。

東條 今、三宮に集客施設が不足しています。各商店がいろいろな仕掛けをしています。なかなか効果が上がりません。グルメとファッションは表裏一体。我々アパレル界も西村屋さんの奮起に期待したい。また、二〇〇一年には、市営地下鉄湾岸線も完成し、神戸国際会館の地下と結ばれます。東はHAT神戸（東部新都心）、西はサッカーワールドカップが開催される神戸中央球場まで延びる予定です。ドームもできるといふ予定もありますから磯上通や磯辺通をとり込んだ、三宮南の繁栄にも寄与してくれるでしょう。

小松原 三宮センター街にとっても復興の太い柱が完成したことは、まさに感無量。震災前から神戸国際会館と新開会館は三宮のシンボルでした。そごう、さんちか、三宮センター街を含めどうしても欲しかったものは文化交流の場でした。昨年、三宮センター街ではアーケードが完成したり、シャント神戸を開催して、集客は震災前に比べ一〇〇パーセント以上に増えました。



東條隆裕さん

小松原正直さん

中野正夫さん

西村 理さん

しかし、売上は七〇パーセントほど。残りの三〇パーセントの売上を埋める意味でも大きな期待を寄せています。

★三宮のセンスを取り戻したい

―神戸国際会館の景観に相応しい街づくりが大切になってきますね。

西村 都心部でも大型店舗が郊外にできたことにより、空洞化が進んでいます。これからは都心部と郊外の住み分けをする必要があると思います。都心部でいうと生活者のマインドを刺激するような専門性の高い商品とアメニティ空間ということになります。

中野 神戸国際会館がランドマーク的な立派な建物に生まれ変わったわけですから、そことしても神戸のセンスにあふれた商品を取り揃えなければなりません。震災以降、街行く方を見たりしたら、目的地まで真つすぐ行かれ、街歩きそのものを楽しめていないような気がします。三宮の今までのイメージというのは、ゆったりと歩いて楽しむ街でした。来街者にゆとりを感じていただけるような賞品やサービス機能が再び必要となつてきますね。

小松原 三宮センター街も以前から繁雑で、街の景観を改めなければなら

いと、取り沙汰されて来ました。看板や陳列もさることながら前売り（露店など）が邪魔になり混雑を招きます。

東條 その通りです。おしゃれな帽子を被って街を歩くという環境がないとね。もどぶら〃に対抗して、「ちよつと三宮へ行ってくるわ」という〃さんぶら〃を流行らせた。

★心のなごみ商品・サービスを

―最後に、二十一世紀に思い描く、三宮像をお聞かせいただけますか。

西村 バチカンでは二〇〇〇年を大聖年、ホワイトハウスは二〇〇〇年の一月一日から二〇〇一年の一月一日をミレニアムイヤー（千年紀）として祝っています。兵庫県でも花の万博〃ジャパンフロラ2000〃が開催されますが、それに先立って、神戸でいろいろな花を咲かせられればいいですね。

東條 二十一世紀までの過程を大切にしなければいけませんね。タクシーに乗るにしても運転者さんが笑顔で対応するとか、人間的なサービスを積み重ねること、三宮に来ると清々しいというように。

中野 二十一世紀は、モノの豊かな時代から、心も豊かな時代への転換期だと思います。神戸国際会館で、映画や

コンサートをご覧いただいて感動する。その後で、ショッピングを楽しむ、美味しいものを食べるなど、心を動かすような街でなくてはなりませんね。

西村 二十一世紀はモノを売るより、コトを売る時代です。三宮は〃ハイアメニティ空間〃でありたいですね。三宮を歩いていると、いいものがあるから思わず買ってしまつたという風に〃小ゆとり〃（ちよつとしたゆとり）に応えられる街でありたい。

東條 アメリカのように週末ごとにパーティーがありますと、彼や彼女に会うのに同じ衣装で参加するわけにはいきません。芝居を見に行くには、着物でお越になる方も多いでしょうから、いろいろなファッションの需要も増えると期待しています。

小松原 どこでも手に入る商品を取り扱うのではなく、お金に糸目をつけないでも欲しいと思える付加価値の高い商品を買って行くことをめざさなければ。

中野 昨年、「いい夫婦の日」のイベントとして、仲のよい夫婦にいっしょにショッピングにお越しいただき、お二人の写真をお酒のラベルに仕立て、お渡しするという催しを行いましたところ、多数の皆様にご喜ばれました。これからも心のなごみ催しをつづけていきます。

◆神戸、21世紀へのメッセージ

建築は文化を創っている

3/10 「三宮ビル南館」
4/28 「神戸国際会館」 竣工

この春、三宮の顔ともいべき2つのビルが完成します。3月10日に「三宮ビル南館」、4月28日には「神戸国際会館」が竣工。神戸の経済・文化を活性化させる起爆剤として期待されています。



和田貞男

(和)竹中工務店取締役神戸支店長



3月10日竣工の「三宮ビル南館」

「三宮ビル南館」と「神戸国際会館」が、それぞれ3月10日、4月28日に竣工します。神戸の中心・三宮にとって不可欠である2つのビルの施工に携わった当社としましては、神戸文化の創造的復興に寄与できたことは、この上ない喜びです。

そもそも当社は、始祖が1610（慶長15）年に創業、名古屋の織田家に仕えて寺社建築に携わっていたことに始まります。現在の竹中工務店が創立されたのは、1899（明治32）年。この神戸の地でした（県庁北側の竹中大工道具館が開館している場所）。以来、今年でちょうど100年。「匠の精

神」を受け継ぎながら、近代建築の建設を通じて地域の繁栄と文化の向上に尽力してきました。

建築の歴史は古く、人類の文明とともに始まっています。都市の大規模構造物は人類文明の指標とされ、エジプトのピラミッドやギリシャ・ローマの遺跡は、その代表的なものといえるでしょう。

わが国では、最古の建築物とされる法隆寺が建設されたのが、今から1000年以上前の西暦607年。他に東大寺、桂離宮、東照宮など、世界に誇る有名な建築を生んできました。

建設活動の究極の目的は「人間の生活を豊かにすること」です。建築は文化を創る大きな要素であり、その文化を後世に伝える存在でもあるのです。

震災では、多くの人命と建築遺産を失いましたが、5年目にしようやく復興の目途が立つてきたように思えます。人が安心して



4月28日竣工の「神戸国際会館」。29日に商業ゾーンがオープン（グランドオープンは5月28日）

て暮らし憩える街、地域環境の向上に貢献できる街、そして未来に繋げていくための建築遺産となり得る建築作品をつくりだしていくことが、当社ができる唯一の奉仕であると考えています。

これからも「匠の精神」を失うことなく、文化としての建築をつくりつづけることに邁進していく所存です。

ポイントを集めるとお買い物券をプレゼント。

そごうポイントカード

(会員募集中)

●お買い上げ100円
につき7%のポイント
をプレゼント。

次年度からは、お買い上げ金額に応じて
7%から最高10%のポイントがつきます。
2,000ポイントごとに2,000円分の「そごう
ポイント券(お買い物券)」と交換いたします。



●初年度は年会費無料。
2年目からも300円と、お得です。

●ご来店ポイントとして
1日1回に限り
10ポイント進呈。

ご来店ポイント受付けは午前10時
～午後7時30分とさせていただきます。

この街で、皆さまとともに。

ご入会受付

お申し込み、ご相談はそごうポイントカード
承りカウンター(本館9階)どうぞ。

運転免許証などご本人さまを証明できるものと、銀行お届け出印をご持参ください。
※審査により、ご希望にそえない場合もございますので、ご了承ください。



神戸三ノ宮
そごう
神戸(078)221-4181

“タサキSOL店” 今春、新しい神戸国際会館にオープンします。



田崎真珠ギャラリー 078-303-7667

神戸ポートピア店 078-302-1560

上海田崎ハーバーランド店 078-362-8080

三宮センター街東店 078-334-0281

三宮センター街西店 078-391-4085


TASAKI SHINJU

[本社] 神戸市中央区港島中町6-3-2 TEL (078) 302-3321

<http://www.tasaki.co.jp>

札幌・仙台・千葉・成田・東京・横浜・浜松・秦野・名古屋・京都・大阪・神戸・松山・広島・福岡・大村・長崎・香港・上海・北京・台湾



神戸市中央区中山手通1丁目7-8
 格子屋ビル1階 TEL.078-331-2924
 P.M.5:00~P.M.10:00
 定休日 日曜・祝日

一階にはカウンター席が七つと小じんまりした店内。カクテル、シヨットも六〇〇円からとリーズナブルな価格なので、サラリーマンにも人気。岡智子ママの落ち着いたムードもあって、じっくり美味しいお酒が飲める。二階には十六名までのテーブル席もあってパーティも可。チャージは五〇〇円。

日本料理 海舟

~安らぎのひとときを~



気軽に贅沢を。日本料理「海舟」では、瀬戸内の新鮮な海の幸を良心的なお値段で堪能できる。女将・島田晴代さんの初々しいサービスマナーもさることながら、地酒が豊富に揃っているのも嬉しい。島田さんのお薦めは、旬の味覚を盛り込んだ「今月のおまかせコース」(六〇〇〇円。二十人までの小宴会も可)。



至新神戸
 JR三宮駅
 神戸市中央区加納町4丁目7-24
 TEL.078-392-0266
 P.M.6:00~A.M.3:00
 年中無休



きんぴらのオーナー尾藤芳起さん(左から4人め)を囲んで

きんぴら炭火焼きコース (1人前6000円)

お付き出し

お造りの盛り合せ 5種類以上

鮮魚の炭火焼

鮮魚のしゃぶしゃぶ 1人前

雑炊 以上で¥6,000

※注文により一品料理も用意いたします。



辰ヶ浜漁師の店 きんぴら

〒650-0012

神戸市中央区北長狭通2丁目11-5

グランドコーストビル1F

TEL.078-331-6736

営業時間 P.M.5:00~ 定休日/日曜・祝祭日

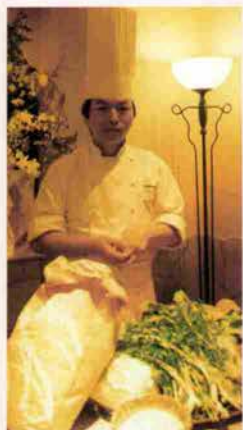
和歌山の
 辰ヶ浜漁港より
 毎日採れたての
 魚なが
 店にならびます



望月美佐さんの書



新鮮な和歌山の魚をあじわってください



米、小松菜、水菜、人参、白菜、いよかんなどこだわりの有機野菜を前に。新鮮な野菜と鮮魚、脂のついた猪など絶妙なコーディネートで食の楽しみを豊かにしてくれる中村新シェフ

RESTAURANT PATRIE

レストランパトリーの素材こだわり塾 第9回

自然の恵みを受けた有機野菜を食材に

降りつもる雪に耐える。これは自然の摂理のなかでもっとも残酷であるにも関わらず、たくましく味をつくり続ける野菜。雪や霜を受けると、野菜に独特の甘味とやわらかみができます。この季節、春菊、小松菜、白菜、キャベツ、ネギなど葉っぱものと、蕪などの根菜が主役となります。畑に赴き、ずっしりと重い雪を取りのぞけば、まるでなかの葉をかばうようにスジばった厚い葉で覆われた白菜が顔を出します。今回はそんな冬の野菜を、また、こだわりの有機野菜を使ったコースを組みました。



聖護院大根と大トロのカルパチオ



冬の菜っ葉と松葉蟹のサラダ



有機トマトと苺、マンゴのシュークリーム



丹波の特選猪ロース肉と乾燥ごぼう添え



鮭並のオリーブオイル焼きと下仁田ネギ添え

RESTAURANT PATRIE
レストランパトリー

神戸市中央区二宮町4-20-5
(ホテルピエナ神戸2F)
TEL.078-272-1313

コレクションにパーソナルギフトに最適!



●ベネチアンアクセサリー各種 (イタリア)
本場イタリアからベネチアングラスアクセサリー&時計、ニューアライバルで続々登場...

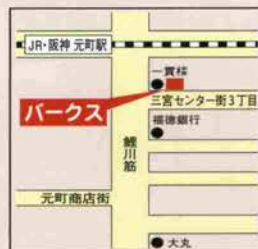
ミニチュア&レジェンド

★★
パークス

神戸市中央区三宮町3丁目9-8
TEL.078-331-5756
FAX.078-321-0173



●ビスク人形各種





神戸三宮 おすすめShop&Street



美味なる地鶏は
日本酒でもワインでも

春先の地鶏は多食で肉付きもよく、最高にうまい。大振りな手羽先(300円)や香ばしいキモ(300円)がお薦めだ。地酒やワインなど、多種そろう和洋の美酒で乾杯!

串焼・焼鳥 トリドリ

☎ 078-391-3028

神戸市中央区北長狭通2-5-1 タイシンサンセットビル2F
17:00~22:00 (ラストオーダー) / 水曜休



Sensible Fashion
SANNOMIYA
HONDORI

小粋なお店に出会える街



三宮本通商店街



お酒と都会の夜景に
クラシックをプラスして

流線形のスペースに音の広がりをを感じるクラシックライブバー。パスタを中心としたイタリアン料理も美味。毎日替わりのプログラムで、気軽に本格派クラシックを楽しめる神戸で唯一のスポット。



TEAROOM・SHOTBAR

PIA KOBE

KOBE・SANNOMIYA

ピアジュリアン
神戸市中央区加納町4・3・2
近藤ビル9F
TEL.078・391・8081

- ランチタイム
11:00~14:00 (毎日)
- ディナータイム
~17:30 (月~金ライブ有)
- パーティタイム
18:00~翌2:00
(ライブ20:00~チャージ1000円)
- 年中無休



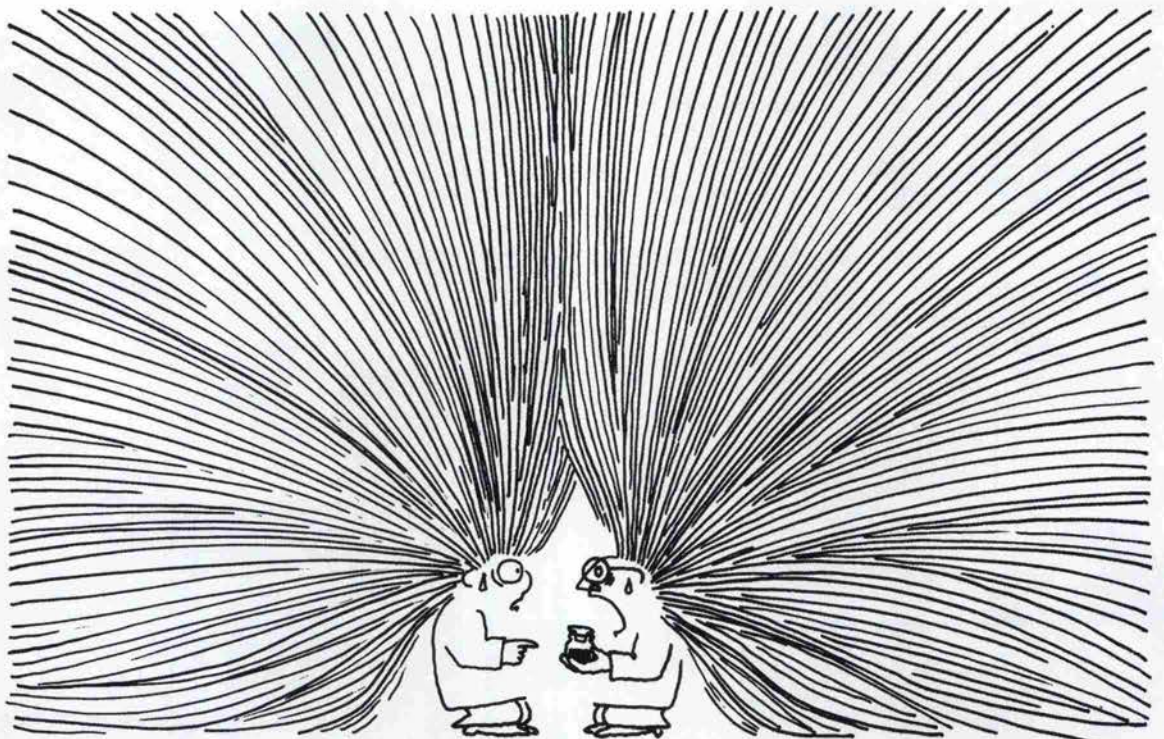
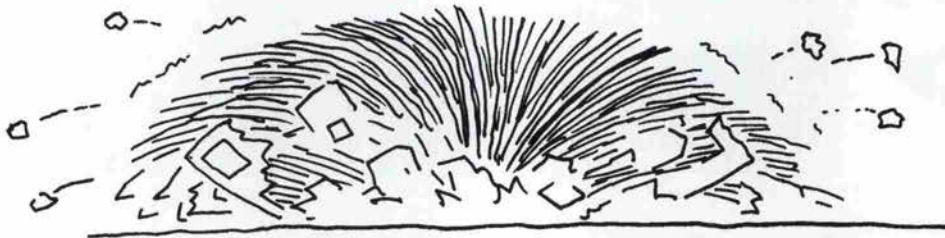
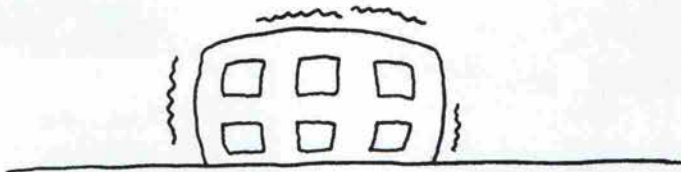
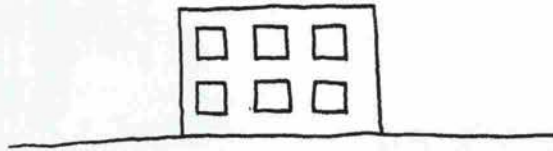
ギャラリー
ほりかわ

神戸市中央区三宮町2-9-11
事務所TEL.&FAX.078-331-2485
ギャラリーTEL.078-332-4877



おなじみプロフェッサーPの研究室

— 岡田 淳 —



どうやら すごいきめの毛はえ薬を
発明してしまったようです

Tanaka